



**シオン
ヨリガン**

私が見た北秋田
Kitaakita from My Eyes NO.73

宇宙杉

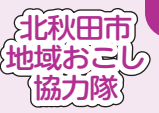
私は12年前にALTとして来日し、合川地区に住み、合川中学校を本務校として働いていました。その後、ALTの勤務が終わっても、合川の翠雲公園の隣にある「あきたリフレッシュ学園」で英語の指導をしています。長年にわたり、北秋田市に、特に合川地区に愛着を持つようになりました。

この間、初めて知って驚いたことがあります。今回のタイトルのとおり、翠雲公園に「宇宙杉」という杉の木があるということでした。これは、1992年、スペースシャトル・エンデバー号で宇宙飛行士の毛利衛さんと一緒に8日間の宇宙飛行をした種が、私が見るさらに12年前の1998年、翠雲公園に植樹された

そうです。当時の私は、宇宙飛行士の野口聡一さんが乗ったディスカバリー号などをテレビで見て憧れていました。愛着のある合川と出身のアメリカと、そして、地球と宇宙との繋がりが感じられます。

現在の「宇宙杉」は、ロケットみたいに真っすぐ伸びて、たくましく成長している姿が見られます。





**北秋田市
地域おこし
協力隊**

**きたあきたの
魅力発掘**
vol.56

**地域おこし協力隊
3年目を迎えます**

皆さまこんにちは。地域おこし協力隊の阿部夏代です。

おかげさまで、10月から地域おこし協力隊着任3年目を迎えました。温かく受け入れてくださった地域の方々、ご尽力くださる市役所の職員の皆さま、他にもたくさんの方々に支えていただき、振り返るとあっという間の2年間でした。

私は「移住コーディネーター」として、移住体験を希望される方々へのアテンド業務や地域に関わる情報の発信を行い、並行して「薬膳料理」「COKS(秋田県内の協力隊団体)」などの活動もしています。

もともと移動販売車が好きだったこともあり、「北秋田市で得た知識・経験を自分が各地に移動して伝えたい」と思うようになりました。2年目は多く

のご縁をいただき、「秋田薬膳料理教室」の開催や「COKS(ソックス)」「メンバー達と」あきたコス(秋田県産の食材を2品以上使用したタコス)を開発してイベントを行うなど、やりたかった活動を形にすることが出来ました。

3年目は、改めて北秋田市の良さを掘り起こしながら自分なりにPR活動を続け、地域おこし協力隊として出来ることを増やしていく1年間にしたいと思っています。

お見かけの際はどうぞよろしく願います。



▲美味しい食材を紹介したいです

市長ダイアリー

◇9月16日～10月15日

16日(金)▽北秋田市議会9月定例会一般質問2日目(議事堂)
17日(土)▽北秋田市敬老式(鷹巣地区)(コムコム)▽秋田CARAVAN MUSIC FES 2022(空港ふれあい緑地)
18日(日)▽秋田CARAVAN MUSIC FES 2022(空港ふれあい緑地)
20日(火)▽秋田県信用組合合川支店オープニングセレモニー(同所)
22日(木)▽桂瀬横ノ沢・檜谷地区溜池受益者陳情書提出(本庁舎)
23日(金)▽杜祭り(コムコム)
25日(日)▽2022北緯40度秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン後夜祭(交流センター)
28日(水)▽定例記者会見(本庁舎)▽大館能代空港活性化セミナー(大館市)▽定例部長会議(本庁舎)▽秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン・壮行会(コムコム)
30日(金)▽地域おこし協力隊退任式(佐藤高博さん)(本庁舎)
3日(月)▽地域おこし協力隊委嘱状交付式(阿部夏代さん)(本庁舎)▽中嶋オリックス・バファローズパ・リーグ連覇祝賀セレモニー(コムコム)
4日(火)▽北秋田市議会決算特別委員会分科会総括質疑(本庁舎)
5日(水)▽阿仁診療所医師への表敬訪問(阿仁診療所)
6日(木)▽北秋田市議会決算特別委員会(議事堂)▽秋田ふるさとCM視聴(第一庁舎)
8日(土)▽第50回本場大館きりたんぼまつり開会式(大館市)
11日(火)▽北秋田市議会9月定例会(最終日)(議事堂)▽秋田県北部地域日沿道建設促進フォーラム(大館市)
12日(水)▽秋田県東海地区企業懇談会・セミナー(愛知県)
13日(木)▽企業訪問(大阪市)
15日(土)▽伊勢堂代遺跡世界文化遺産登録記念植樹(伊勢堂代縄文館)

**環境
コラム
第53回**

地球温暖化防止を考える

2020年10月、政府は地球温暖化防止のため、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとするカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

温室効果ガスとは二酸化炭素(以下、CO₂)をはじめとする温室効果をもたらす気体であり、カーボンニュートラルとは温室効果ガスの「排出量」から、植物、森林管理等による「吸収量」を差し引いて、実質的にゼロにすることを意味しています。

植物は光合成してCO₂を吸収しますが、このようなしくみで吸収される総量が温室効果ガスの排出量を上回ることを目指します。林野庁によると、適切に手入れされた36～40年生の杉人工林1ヘクタール(約1000本)が1年間に吸収するCO₂量は約8・8トンです。1世帯での排出量は約4・5トン(2017年)なので、1世帯分を

吸収するには40年生の杉0・51ヘクタール(約509本分)が必要です。

森とそこに住む生物を守っていくことが非常に大事なことで、このような環境保護に関する書籍を2点紹介します。

1点目は「沈黙の春」レイチェル・カーソン作ですが、テーマは化学物質の危険性です。

2点目は「SEED」ラディック・鯨井／本庄敬作、漫画ですが、テーマは自然環境と人の関わりです。

どの書籍も自然の生命活動をいかに守り持続していくかを考察しています。

機会がありましたら、読んでみてはいかがでしょうか。

